

世界一の健康・省エネ住宅立国をめざして

～産官学と医師会、消費者団体も協力して国民合意可能な研究、市場づくりを～

●概要

▼概要

2006年、NPO シックハウスを考える会と安全な住環境を考える会は、化学物質だけが人の健康の問題でないことを確認するために、バブルの頃に建った工業化住宅の借家から新築に移る家族の協力を得て、従来の住宅と我々が理想とする温度（入浴中のヒートショックで亡くなる方が年間1万4千人、財団法人東京救急協会『平成12年度入浴事故防止対策調査委員会研究委員会』による推定数）、湿度（アレルギーの原因のカビ、ダニの繁殖要因）などを含めた理想住宅を建て、性能と居住者の健康の変化を「18年度都市再生プロジェクト推進調査費」を活用し行った。「真の健康と省エネ技術はシンクロする」ことをマスコミ、生協連合会の安全政策経験者を交えて「企業や業界に都合のよい健康住宅」から世界中の学識経験者、消費者が理想とする世界一の健康・省エネ住宅を国民合意で実現するための方向性を探ります（上原裕之氏/NPO シックハウスを考える会理事長、安全な住環境に関する研究会事務局長）。

▼日時 : 2008年3月5日(水) 10:00～13:10

▼会場 : 東京ビッグサイト 会議棟 6階会議室 (定員110名=スクール)

▼受講料 : 5,000円

NPO シックハウスを考える会会員、安全な住環境に関する研究会会員3,000円(税込み)

▼受講対象 : 建築設計事務所、建設業、建材・設備メーカーなど

▼主催 : 日本経済新聞社

▼協力 : NPO シックハウスを考える会、安全な住環境に関する研究会

●プログラム案

▼10:00～10:10 (10分)

イントロダクション

上原裕之 氏

NPO シックハウスを考える会理事長

安全な住環境に関する研究会事務局長

▼10:10～10:40 (30分)

「室内の温熱環境のコントロール」

岩前篤 氏

近畿大学 理工学部建築学科准教授

▼10:40～11:10 (30分)

「シックハウス症候群と安全な環境に関する研究」

杉田隆博 氏

中央労働災害防止協会 大阪労働衛生総合センター所長

▼11:10～11:30 (20分)

「健康維持増進住宅の研究について」

檜橋康英 氏

国土交通省 住宅局住宅生産課企画専門官

▼11:30～11:40 (10分)

休憩

▼11:40～12:50 (70分)

医学、建築学、行政、産業界、生協関係者、マスコミによるパネル討論

「国民合意可能な健康・省エネ住宅を考える」

原英二 氏

生活協同組合東京マイコープ 政策推進部スタッフ

市村浩信 氏

樹脂サッシ普及促進委員会委員長

平島寛 氏

日経アーキテクチュア発行人

および上記講師

▼12:50～13:10 (20分)

まとめ・質疑応答